チャペル・アワー案内

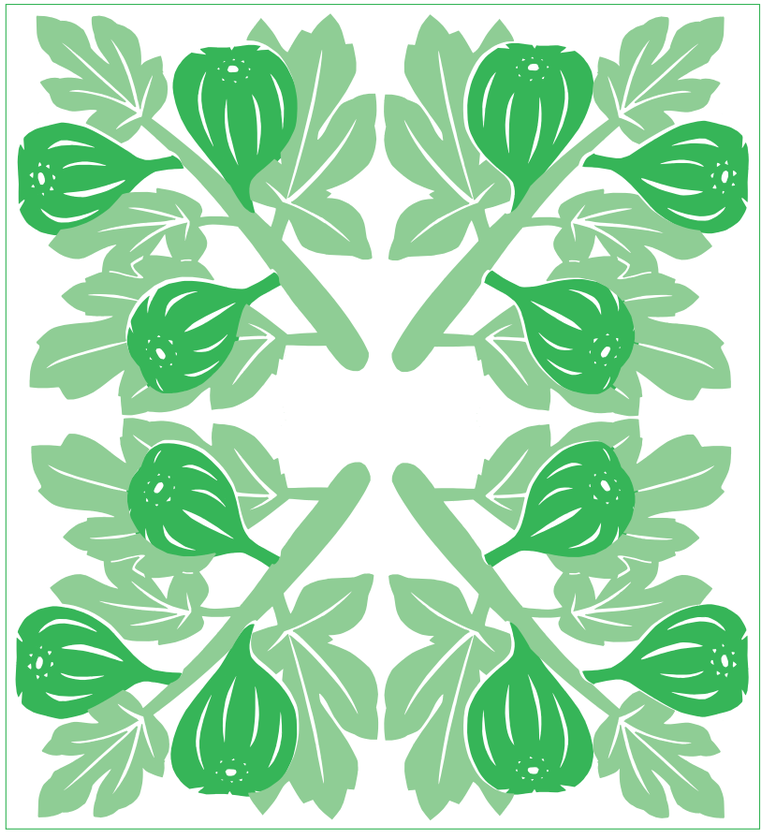
2023年6月1日
No.260

同志社大学
キリスト教文化センター

京田辺
0774-65-7370

今出川
075-251-3320

本センター
ホームページ
https://www.christian-center.jp/



聖書に出てくる植物「いちじく」

切り絵　中谷隆志

春学期チャペル・アワー統一テーマ

「剣を打ち直して鋤とし　槍を打ち直して鎌とする。」
（イザヤ書　2章4節より）

「上り一日下り一時」は作り上げる難しさと壊れる容易さを表した、ことわざです。何かを立ち上げ、新しいかたちを築くためにどれほどの時間と労力、気力が必要なことでしょうか。その苦労話は尽きません。しかし「作り出す」のみが困難な事柄なのかと、ふと疑問が湧きます。社会を見渡すと、既存の概念、常識や伝統に縛られ「壊せず」にいるため、物事が進まないことがあります。息苦しさを感じることがあります。実際は、今あるものを変えることの方が、よりエネルギーを必要とする難題なのかもしれません。

春学期の統一テーマであるイザヤの言葉は、武器を火の中で一旦溶かし、農耕具へと変えられる様子を語ったものです。力や権力を誇示するための道具を手放し壊さなければ、命を育む道具に作り変えることはできない。自己防衛のために武器を手にする生き方を「打ち直し」ていかなければ、穏やかな日常は訪れない。そのようなメッセージを受け取ることができます。平和への第一歩は己の中にある武器（自己中心、傲慢、暴力）を打ち直すことから始まるのではないでしょうか。

（キリスト教文化センターチャプレン
日本キリスト教団石橋教会牧師　仲程　愛美）

聖書に親しむプログラム（本学在学生対象）

○聖書を学ぶ会（センター教員・越川弘英）

この会は１ヶ月に一度程度の開催で、よく知られている聖書のトピックを学びます。春学期は旧約聖書から「バベルの塔」「モーセ」「ヨナ書」など、秋学期は新約聖書から学びます。いろいろな聖書翻訳の読み比べや話し合いを通して、聖書の多様な理解を探ります。初めての方も歓迎します。
（開催日などは当センターのHP、ポスター、
チラシでご確認ください
クラーク記念館ラウンジ）

○聖書研究会（センター教員・森田喜基）

聖書には私たちの人生を輝かせる言葉や、深いメッセージがいっぱい詰まっています。そんな言葉との出会いを、同志社に学ぶ間にしてみませんか。「研究会」とは言いつつ、大部分は参加者の皆さんと一緒に聖書を読んで感じたことを、分かち合うことに重点を置いたプログラムです。互いの想いを聴きながら、楽しく学ぶことができます。対面で聖書の言葉に触れてみたい方がおられましたら、気軽にお立ちよりください。
（毎月第２・第４火曜日　10時45分～12時
同志社京田辺会堂光館(HIKARI-KAN)チャプレン室）

○聖書を味わおう（チャプレン・仲程愛美）

聖書はこれまで時を超え、場所を超えて読み継がれてきました。さまざまな事柄が記されているこの書物を手に、人々は語り合い、喜び合い、励まし合いました。一人でじっくりと読むのも良いのですが、誰かと感想を分かち合いながら読むのも、新しい発見や気づきがあり魅力的です。聖書やキリスト教に興味がある方、初めて聖書を開く方も、ご一緒に聖書の「ことば」を味わってみませんか。
（毎週金曜日　13時15分～14時
クラーク記念館ラウンジ）

○スタートアップ：聖書の扉（チャプレン・川江亜希子）

辛い時、悲しい時、苦しい時、自分の行き場が見つからない時。自分自身をすぐに変えられることができない時があると思います。けれども、ある時ふと出会う言葉や人によって、新しい視点が与えられる時があります。そんな新しい視点との出会いを、聖書を開いて見つけてみませんか。一冊の絵本と共に、聖書の言葉を知る時間、どなたでもお越しください。途中入室も大丈夫です。
（毎週金曜日　13時15分～14時
同志社京田辺会堂光館(HIKARI-KAN)チャプレン室）

お知らせ

○「新町ウィーク」チャペル・アワー

今年も「出張チャペル・アワー」を開催します。春学期はいつものチャペル・アワーを今出川校地・新町キャンパスでランチタイムに行います。新町キャンパスを学びの拠点としている学生の皆さん、ぜひこの機会にご参加ください。

６月６日（火）12：35～13：00
社会学部教授　小黒　純
「ChatGPTは神の領域か？」
会場：新町キャンパス　臨光館204番教室

６月７日（水）12：35～13：00
教務部長　大島　佳代子
「平和のうちに生存する権利」
会場：新町キャンパス　臨光館302番教室

６月９日（金）12：35～13：00
日本キリスト教団平安教会牧師　小笠原　純
「プレイバックPart2　八重さんと呼ぶ」
会場：新町キャンパス　臨光館205番教室

※時間と場所にご注意ください。
※新町ウィーク期間中、今出川キャンパスでのチャペル・アワーは行いません。

○メディテーション・アワー

オルガニストによるオルガン演奏を聴きながら心静かなひとときをお過ごしください。

今出川校地　７月27日（木）までの
月～木　12：40～13：00
会場：同志社礼拝堂
※6/6（火）～6/9（金）は、新町ウィークのため、メディテーション・アワー、チャペル公開ともに中止とします。あらかじめご了承ください。

京田辺校地　７月27日（木）までの
月・木　12：40～13：00
会場：同志社京田辺会堂
言館（KOTOBA-KAN）礼拝堂

○チャプレンとの面談

学生の人生における悩みや不安などの相談に応じています（教会のみならず、学校、病院などで働きを担う牧師をチャプレンと呼びます）。

今出川校地・京田辺校地
随時受付：越川　弘英、森田　喜基
今出川校地
金曜日　14：00～15：00　仲程　愛美
京田辺校地
金曜日　14：00～15：00　川江　亜希子

チャペル・アワー

年間実施予定　春学期：4月11日（火）～7月28日（金）
　　秋学期：9月26日（火）～2024年1月26日（金）

◎チャペル・アワーは礼拝堂で行うとともに、各校地隔週で録画によるオンライン配信をする予定です。当日の奨励題や配信のスケジュールなど詳細につきましては、ホームページや学内掲示板をご覧ください。
◎チャペル・アワーに参加の方は、会場入口に掲示する注意事項を遵守してください。
◎音声や文字などによるサポートが必要な方は、2週間前までにチャペル・アワーを実施する校地の事務室までお知らせください。

スケジュール（春学期後半）

京田辺校地

火曜ランチタイム・チャペル・アワー
同志社京田辺会堂
言館（KOTOBA-KAN）礼拝堂　毎火曜日12時35分～13時

月/日	奨励者
6/6	日本キリスト教団香里ヶ丘教会牧師 渡辺圭一郎
6/13	日本キリスト教団高の原教会牧師 竹ヶ原政輝
6/20	日本キリスト教団能登川教会牧師 谷香澄
6/27	日本キリスト教団京都葵教会牧師 内山友也
7/4	日本キリスト教団香里ヶ丘教会牧師 渡辺圭一郎
7/11	日本キリスト教団能登川教会牧師 谷香澄
7/18	日本キリスト教団高の原教会牧師 竹ヶ原政輝
7/25	日本キリスト教団香里ヶ丘教会牧師 渡辺圭一郎

水曜ランチタイム・チャペル・アワー
同志社京田辺会堂
言館（KOTOBA-KAN）礼拝堂　毎水曜日12時35分～13時

月/日	奨励者
6/7	日本キリスト教団奈良教会牧師 汐碇直美
6/14	理工学部教授 和田元
6/21	グレース宣教会牧師 青木保憲
6/28	音楽礼拝 ヴァイオリニスト 藤盛祐輔
7/5	日本キリスト教団豊中教会牧師 山﨑道子
7/12	心理学部生 古河桃名
7/19	同志社国際中学校・高等学校宗教科教諭 西原ももこ
7/26	キリスト教文化センター准教授 森田喜基

金曜ランチタイム・チャペル・アワー
同志社京田辺会堂
言館（KOTOBA-KAN）礼拝堂　毎金曜日12時35分～13時

月/日	奨励者
6/9	日本キリスト教団高槻日吉台教会牧師 吉岡恵生
6/16	日本キリスト教団浪花教会牧師 川江亜希子
6/23	日本キリスト教団阿倍野教会牧師 山下壮起
6/30	キリスト教文化センター教授 越川弘英
7/7	日本キリスト教団高槻日吉台教会牧師 吉岡恵生
7/14	日本キリスト教団浪花教会牧師 川江亜希子
7/21	日本キリスト教団河内天美教会牧師 今井このみ
7/28	日本キリスト教団阿倍野教会牧師 山下壮起

今出川校地

火曜チャペル・アワー
神学館礼拝堂　毎火曜日17時30分～18時10分

月/日	奨励者
6/6	新町ウィーク 社会学部教授 小黒純
6/13	商学部准教授 谷本啓
6/20	日本キリスト教団京都葵教会牧師 内山友也
6/27	日本キリスト教団ゴスペルハウス教会牧師 金度亨
7/4	日本キリスト教団高の原教会牧師 竹ヶ原政輝
7/11	日本キリスト教団はりま平安教会牧師 松本あずさ
7/18	キリスト教文化センター准教授 森田喜基
7/25	同志社中学校・高等学校キリスト教科教諭 川江友二

水曜チャペル・アワー
クラーク・チャペル　毎水曜日10時45分～11時30分

月/日	奨励者
6/7	新町ウィーク 教務部長 大島佳代子
6/14	日本キリスト教団草津教会牧師 横田法子
6/21	日本キリスト教団近江平安教会牧師 鳥井新平
6/28	神学部助教 三輪地塩
7/5	法学部准教授 望月詩史
7/12	日本キリスト教団神戸教会牧師 大塚忍
7/19	神学部准教授 木谷佳楠
7/26	キリスト教文化センター教授 越川弘英

金曜チャペル・アワー
同志社礼拝堂　毎金曜日12時35分～13時

月/日	奨励者
6/9	新町ウィーク 日本キリスト教団平安教会牧師 小笠原純
6/16	神学部教授 村山盛葦
6/23	日本キリスト教団牧師（京都教区巡回教師） 堀江有里
6/30	日本キリスト教団同志社教会牧師 菅根信彦
7/7	日本キリスト教団石橋教会牧師 仲程愛美
7/14	日本キリスト教団平安教会牧師 小笠原純
7/21	神学部教授 村山盛葦
7/28	日本キリスト教団牧師（京都教区巡回教師） 堀江有里

※今出川校地の6／6、6／7、6／9のチャペル・アワーは12時35分から、新町キャンパスで行います。時間と場所にご注意ください。（詳細は裏面「新町ウィーク」をご覧ください。）

エッセイ

『同志社で聖書を学ぶということ』

竹ヶ原政輝

「……見えてきたのは……日本社会の変遷と現在地である。」「……日本の現在地が見えてきました。」前者は、『ファスト教養　10分で答えが欲しい人たち』（レジー著　集英社新書　2022年9月21日第一刷発行）の「はじめに」の一節。後者は、朝日新聞掲載の「わたしが日本を出た理由」という連載記事の第一回（デジタル版2023年1月27日）の序文の一節です。共に私たちの生きている社会の〝現在地〟とやらが見えてきたということなのですが、両方に目を通して感じさせられたのは、この〝現在地〟には〝不安〟というものが影響しているらしいということです。

VUCA（「Volatility 変動性」「Uncertainty 不確実性」「Complexity 複雑性」「Ambiguity 曖昧性」）という言葉で表される変化が多く不安定な時代に脱落者とならないために、ビジネスパーソンの多くが「コスパ」重視で「ビジネスの役に立つ小ネタ」を得ようとしている。そこで使われる「教養」という言葉に対する違和感を、その背景にある社会のあり様（たとえば、「自己責任論」がはびこる社会）の分析と共に『ファスト教養』は語ります。

朝日新聞の記事では、海外で仕事や子育てをすることを決断した人々についてさまざまなケースが取り上げられています。関連する記事によれば、2022年10月1日現在、海外永住者の累計が過去最高の推計約55万7千人（前年比で約2万人増。外務省の統計）になったということで、「賃金や労働環境、社会の多様性・寛容性などの面で、日本よりも北米や西欧諸国に相対的な魅力を感じる人が多くなっているのではないか」と分析する専門家の意見も伝えていますが、日本の先行きにいろんな意味で不安を感じている人が増えているということなのでしょう。

同志社の校祖新島は、アメリカの社会への憧れと共に日本社会への失望を募らせ、ついに日本を出ることになるわけですが、その際の動機の一つに「聖書を学びたい」ということがあったと考えられます。それは、欧米の近代科学を表層的な学問としてしまわないためでもありました。皆さん、ぜひ『聖書』を学んでください。グローバル化の時代に必要な「教養」ということ以上に、それは世界と社会をさまざまな角度から見つめ、深く思考する機会を与えてくれるはずです。日本社会の〝現在地〟に関して「遅れている」としばしば言われますが、その価値基準が絶対化されることにも違和感を覚えます。真に私たちの社会が良くなっていくための議論に寄与する知識と良心とを身に着ける――同志社での『聖書』の学びは、そのために重要な意義を持っていると信じます。

（たけがはら・まさてる＝日本キリスト教団高の原教会牧師・神学部嘱託講師）